

(様式 2)

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書 (参加学生)

平成 23 年 8 月 7 日

所属：工学資源学部地球資源学科 学年：4 年次

氏名：石原裕士

研修先大学・機関名等 (国)：フィリピン大学国立地質学研究所，フィレックス鉱山会社 (パドカル鉱山，シブタッド鉱山) (フィリピン)

在籍身分：

渡航年月日：2011 年 07 月 14 日

帰国年月日：2011 年 07 月 31 日

○研修先での学習内容等

フィレックス鉱山会社の所有するサンドトーマス坑内掘り内部で実際の採鉱現場を見学し、岩質、産状を調査した。また、パドカル鉱山を研究テーマとする渡辺と共に周辺の野外調査、ボーリングコア観察を行った。その後自らの研究テーマでもあるシブタッド鉱山へ移動し、現在銅の鉱徴地として期待されているナンカ山での野外調査、シブタッド鉱山、及び周辺の金鉱徴地での野外調査、ボーリングコア観察から岩質、及び鉱化帯の調査を行った。7 月 29 日にはフィリピン大学国立地質学研究所でのセミナーで調査結果、及び今後の研究計画を発表した。

○研修期間の生活面について

調査は午前 8 時前頃から始め、野外調査もしくはボーリングコアの観察を行い、現地の方々の仕事が終わる午後 4 時頃に終了した。その後スタッフハウス (宿舎) へ戻りその日調査したデータの整理、また次の日の予定なども計画し、過ごした。

○研修期間全般にわたる感想

今回の調査で現地の方々とお話するとき、自分から話を始めることの難しさを感じました。このように日々フィリピンで毎日過ごしていく中で、身をもって英語でのコミュニケーションの大切さ、便利さがわかりました。

また、現地の方々の生活リズムや、日本では決して触れることのできないフィリピンでの鉱山現場を実際に見たり触れたりすることができ、とてもよい経験になりました。

○今後の勉強計画

- 1, シブタッド鉱床及び周辺に産出していた石英及び重晶石の流体包有物により鉱床の形成温度を明らかにする。
- 2, 今回採取したサンプルから産出する鉱石鉱物を明らかにする。
- 3, ナンカ山で採取したサンプルで斑岩銅鉱床として有望なものかを調査する。

(様式 2)



シブタッド鉱床のボーリングコア置場



シブタッド金鉱床での野外調査